静岡理工科大学
輝く未来へ はばたく力を

教職課程　履修カルテ

学部	学科
学　籍　番　号	
氏（し）　名（めい）	
希望する教員免許状（教科）	高校一種免許状（　　）
在　籍　期　間	年4月入学　　年3月卒業予定

１　「教職実践演習（高等学校)」（２単位）について

教職課程履修の４年次後期授業に「教職実践演習（高等学校)」（２単位）があります。これは、教員として求められる必要な知識・技能等を修得したことを確認する総まとめの科目で、この中で「履修カルテ」の作成が教育職員免許状取得の絶対要件として位置づけられています。

２　「履修カルテ」の作成について

（１）目的

教職課程を履修する学生一人ひとりが各自の学習内容を把握し、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるための手がかりにする。

（２）作成期間

教職課程履修１年目から４年後期の「教職実践演習（高等学校)」（２単位）を履修するまでの間、継続して作成する。

（３）記載内容

①施行規則第６６条の６に定める科目
②教科及び教科の指導法に関する科目（教科）の履修状況
③教育の基礎的理解に関する科目等、教科及び教科の指導法に関する科目（教科の指導法)、大学が独自に設定する科目の履修状況
⑤教育実習に関する取組状況
⑥自己評価シート

（４）作成方法

①指定のファイルに綴じる（ファイルは教職支援室で用意する）
②学期ごとに履修状況を記入する。
③学年ごとに自己評価シートに記入する。
④教育実習、ボランティア等の活動について記入する。

（５）提出時期

①１年次３月　教職支援室へ提出する。
②２年次３月　教職支援室へ提出する。
③３年次２月　教職支援室へ提出する。
④４年次９月　教職支援室へ提出する（「教職実践演習（高等学校）」（２単位）の授業開始前までに）。

（６）留意事項

「履修カルテ」の提出がない場合、「教職実践演習（高等学校）」の履修は認めない。

（７）「履修カルテ」の記入方法

ア　「施行規則第６６条の６に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「大学が独自に設定する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の履修状況について、「教員名」、「成績評定」、「修得年度」及び「学んだこと」を記入する。成績評定がまだ出ていない科目については、記入しなくてよい。また、複数科目の教員免許状を取得希望の場合は、「教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況」は各教科ごとに記入する。
イ　「教育実習の実施状況」は、教育実習の終了後、実施状況及び学んだこと等を記入する。
ウ　「教員採用選考試験の受験状況」は、公立・私立の教員採用選考試験の受験日、合否結果等を記入する。
エ　自己評価シートは、各学年が終了する段階で、それぞれの学年での学習状況について自己評価する。

２ 教育の基礎的理解に関する科目等、教科及び教科の指導法に関する科目（教科の指導法）、大学が独自に設定する科目の履修状況： １年次

履修年次	法令上の区分	科目名	単位	教員名	成績評定	修得年度	特に学んだこと（要約）	備考
1年前期	教育の基礎的理解に関する科目	教職概論 ―教職入門―	2					教職必修
		教育と社会	2					教職必修
1年後期		教育原理	2					教職必修
		教育心理学	2					教職必修

２ 教育の基礎的理解に関する科目等、教科及び教科の指導法に関する科目（教科の指導法）、大学が独自に設定する科目の履修状況： ２年次

履修年次	法令上の区分	科目名	単位	教員名	成績評定	修得年度	特に学んだこと（要約）	備考
２年前期	教育の基礎的理解に関する科目	教育課程論	2					教職必修
		特別支援教育概論	1					教職必修
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別活動・総合的な探究の時間指導法	2					教職必修
２年後期		生徒・進路指導論	2					教職必修
		教育相談	2					教職必修

２ 教育の基礎的理解に関する科目等、教科及び教科の指導法に関する科目（教科の指導法）、大学が独自に設定する科目の履修状況： ３年次

履修年次	法令上の区分	科目名	単位	教員名	成績評定	修得年度	特に学んだこと（要約）	備考
３年前期	教科及び教科の指導法に関する科目	（　　）科 教育法Ⅰ	2					教職必修
	大学が独自に設定する科目	教職総合演習Ⅰ	1					教職必修
３年後期	教科及び教科の指導法に関する科目	（　　）科 教育法Ⅱ	2					教職必修
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法・技術論	1					教職必修
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1					
	大学が独自に設定する科目	教職総合演習Ⅱ	1					教職選択

２ 教育の基礎的理解に関する科目等、教科及び教科の指導法に関する科目（教科の指導法）、大学が独自に設定する科目の履修状況： ４年次

履修年次	法令上の区分	科目名	単位	教員名	成績評定	修得年度	特に学んだこと（要約）	備考
４年集中	教育実践に関する科目 教育実習校名 （　　）高校 実習期間 月　　日（　） ～ 月　　日（　） 高校の指導教諭 （　　）先生	事前及び事後の指導	1					教職必修
		教育実習	2					
４年後期	教育実践に関する科目	教職実践演習（高等学校）	2					教職必修

３　教科及び教科の指導法に関する科目（教科）の履修状況（その１）

科目名	単位	教員名	成績評定	修得年度	特に学んだこと（要約）	備考

※　履修した科目のみ記入すること。2教科の免許状取得希望の場合は、教科ごとに作成すること。

３　教科及び教科の指導法に関する科目（教科）の履修状況（その２）

科目名	単位	教員名	成績評定	修得年度	特に学んだこと（要約）	備考

※　履修した科目のみ記入すること。２教科の免許状取得希望の場合は、教科ごとに作成すること。

３　教科及び教科の指導法に関する科目（教科）の履修状況（その３）

科目名	単位	教員名	成績評定	修得年度	特に学んだこと（要約）	備考

※　履修した科目のみ記入すること。２教科の免許状取得希望の場合は、教科ごとに作成すること。

４ 教員採用選考試験の受験状況

教員採用選考試験名	受験教科・科目	試験日	試験会場	合否・判定結果	備考
静岡県公立学校教員採用選考試験	工業（　　） 理科（　　） 数学 情報	一次試験 月　　日（　） 二次試験 月　　日（　）		一次 （ 合格　不合格 ） 二次 （ 合格　不合格 ）	
（　　）県公立学校教員採用選考試験	工業（　　） 理科（　　） 数学 情報	一次試験 月　　日（　） 二次試験 月　　日（　）		一次 （ 合格　不合格 ） 二次 （ 合格　不合格 ）	
（　　）県　私学教員適性検査	工業（　　） 理科（　　） 数学 情報	月　　日（　）		一次 （ 合格　不合格 ） 二次 （ 合格　不合格 ）	

※　選択項目は、該当するところに〇印をつけること

５　自己評価シート

(1)必要な資質能力についての自己評価

必要な資質能力の指標			自己評価			
含めることが必要な事項等	下位項目	指 標	１年次	2年次	３年次	４年次
(1)使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項	①使命感・責任感	教職に対する使命感や誇り、強い情熱を持って自己の職責を果たそうと思っている				
	②教育的愛情	生徒の健やかな成長・発達を心から願い、生徒と喜怒哀楽を共にしながら、教育活動に当たろうとしている				
(2)社会性や対人関係能力に関する事項	③社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、人との接し方など、社会人としての基本的な心得やＴＰＯに応じたマナーが身に付いている				
	④協調性・協働性	学校組織の一員として、他の教職員と協力して職務を遂行することができる				
	⑤対人関係能力	生徒や保護者などと良好な人間関係を築きつつ、課題に対処することができる				
(3)生徒理解や学級経営等に関する事項	⑥生徒指導・生徒理解	生徒指導の意義・目的・内容・方法を理解している。また、個々の生徒の特性（性格・健康状態等）を把握することができる				
	⑦カウンセリング・マインド	生徒の声に耳を傾け、公平かつ受容的な態度で接することができる				
	⑧学級経営力	生徒と信頼関係を築き、規律ある学級経営を行うことができる				
	⑨集団指導力	特別活動（部活動や生徒会活動）などでリーダーシップを発揮し、生徒集団を動かすことができる				
(4)教科等の指導力に関する事項	⑩学習指導要領	高校の学習指導要領総則及び専門教科の内容に関する基本的な事項を理解している				
	⑪専門教科の指導力・学習指導案づくり	専門教科の指導に自信がある。また、学習指導法の基礎理論を理解し、自分で学習指導案を作ることができる				
	⑫授業技術	板書や発問、話し方などの基本を身に付け、ゆとりを持って授業を展開することができる				
	⑬テストと教育評価	ポイントを押さえたテスト問題を作ることができる。教育評価の基本を理解している				
(5)豊かな人間性とやらまいか教育等に関する事項（本学理念・目的）	⑭総合的な人間力（まことの人間性）	豊かな人間性を身に付けるために日ごろから読書（新聞・雑誌等）や研修等で自己研鑽に努めている				
	⑮やらまいか精神と創造性	本学の開学理念とやらまいか精神を理解している。また、いずれは地域社会に貢献したいと思っている				

※　自己評価の記入方法　「５＝よくできる、４＝ある程度できる、３＝どちらとも言えない、２＝あまりできない、１＝できない」のいずれかの数字を記入すること。

(2)教職を目指す上での当面の課題

１年次	
２年次	
３年次	
４年次	